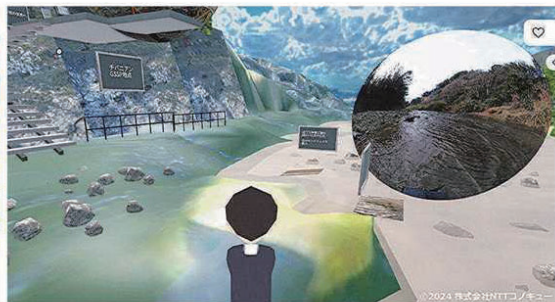
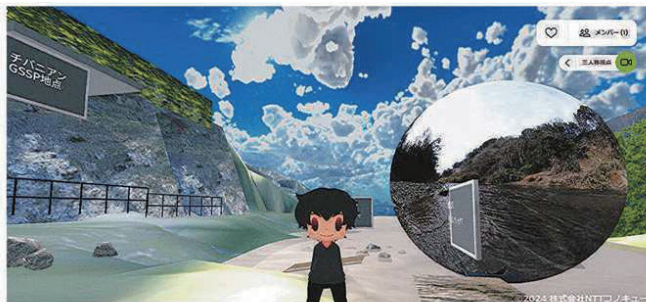
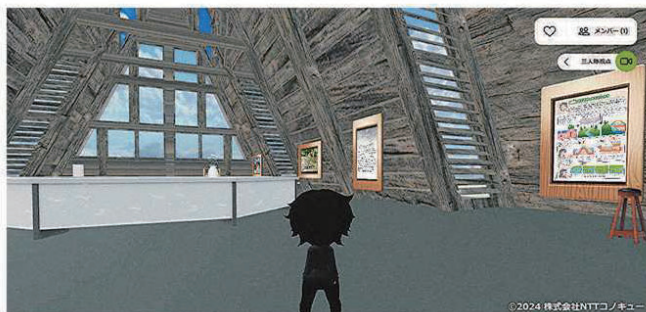




～誰でもどこでも楽しもう～

仮想空間でチバニアン体験



メタバースに再現したチバニアンデジタルセンター

「メタバース」行政サービスなど活用目指す

市は、高齢者や子育て世帯など時間や行動に制約がある人でも、デジタル技術を使って行政サービスを受けやすくなる取り組みを進めている。

検証は来年3月まで続ける予定。検証を通し、メタバースに対する市民の関心度や利用実態などを調べる。市情報政策課の担当者は「将来的には、メタバースを使って、車いすの利用者やひきこもりの人なども行政の窓口サービスを利用できる仕組みを目指したい」と話している。

市原市田淵には、地磁気の逆転現象が記録された世界でも珍しい地層が残っており、この約77万4千年～約12万9千年前の時代は「チバニアン」（千葉時代）と名付けられている。メタバースを利用すれば、現地に行くことが困難な人でも、チバニアンの魅力に触れることができる。

市原市田淵には、地磁気の逆転現象が記録された世界でも珍しい地層が残っており、この約77万4千年～約12万9千年前の時代は「チバニアン」（千葉時代）と名付けられている。メタバースを利用すれば、現地に行くことが困難な人でも、チバニアンの魅力に触れることができる。

メタバースとは、アバターと呼ばれる分身のキャラクターを利用して、多人数が相互コミュニケーションを取ったり、経済活動をしたりすることが可能なバーチャル（仮想）空間。オンラインゲームや、オンライン会議、音楽イベント、オンラインショールなど、さまざまに用途が広がっている。

メタバースとは、アバターと呼ばれる分身のキャラクターを利用して、多人数が相互コミュニケーションを取ったり、経済活動をしたりすることが可能なバーチャル（仮想）空間。オンラインゲームや、オンライン会議、音楽イベント、オンラインショールなど、さまざまに用途が広がっている。

千葉商大・NTT東と連携 市原市が検証実験

『東京新聞』2024年5月21日付16面＜地域面＞